

第4回 一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議 議事録（要旨）

日 時：平成27年11月26日（木）午前10時～11時43分

会 場：一宮市役所 本庁舎6階 特別会議室

出席者：委員19人、事務局5人、欠席者1人

傍聴者：2人

1・開会

2・資料の確認

3・定足数の確認と傍聴者の報告

4・議事

① 一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について

▽人口ビジョン編と総合戦略編を説明【資料（11.26配布）】

- ・人口ビジョンについて修正した部分、総合戦略については第4章記載の基本目標ごとの数値目標とその具体的な事業及びKPIを中心に説明

◎委員の意見等

- ・KPIは施策ごとに設定するはずですが、P78の最下段の施策項目③にはKPIがありませんが、よろしいですか。

事務局：この項目については、検討段階ということから具体的な事業がないため、KPIを設けず意思表示だけとさせていただきました。

- ・P61の基本目標の視点について、国の基本目標の順に合わせてまとめていると思いますが、子育てが重要という総合戦略タイトルの趣旨から言うと、この部分が最上位であり、国の基本目標の順番どおりでなくても良いのではないかと思います。

事務局：比重をおくべき部分について、国と違った独自性を出すことは可能ですので、ご意見を踏まえ検討させていただきます。

- ・P64の①にある産業拠点というのは、都市計画マスタープランでいう「産業振興に対応した新たな産業拠点」と同じ意味合いと理解してよろしいか。

事務局：具体的なものではありませんが、これから産業拠点となると場所についてという大きな意味での認識です。

- ・具体的にどことは言えないと思いますが、どこかに産業拠点を設け企業誘致を行うというイメージでよろしいか。

事務局：そのような理解でよろしいかと思えます。

- ・前回申し上げた企業流出を防ぐ企業留置について記載がありません。だから取り組まないということではないかと思えますので、考えをお聞きしたい。

事務局：当然大事な部分でもありますので、企業留置についても念頭に置きながら進めていきたいと考えています。

- ・P65の②にある地方創生発信型人材育成支援事業というのは、こういったも

のですか。

事務局：市外において他都市とタッグを組んで人材獲得のためのイベントを行うことで、市内産業に必要な人材を求めるとともに、そうした人材の受け入れのために窓口を市に設置するものです。

- ・ P74 の①にある K P I 「婚活イベント参加者数」について、以前個別にお聞きした時に婚活そのものより出会いの場づくりをイメージしていると聞いたが、この目標 500 人というのはどういう方々を想定していますか。

事務局：婚活イベントは市内において多く行われており、婚活以前の出会いの場づくりを中心に進めたいと考えています。数字は、もろもろのイベントの参加者総数となります。

- ・ P64 の基本目標 1 の数値目標「市内従業者数」について単純には「維持」と受け取れるが、企業の出入りがかなりあるので、新規事業所数等の K P I 補助指標がないと、どの施策がどう貢献しているか分かりづらいと思います。
- ・ 企業誘致には創業も含まれると思うので、一宮市が積極的に取り組む産業競争力強化法の創業支援事業を既存事業に掲載したらどうですか。

事務局：必要なものがあれば追加を検討したいので、ご意見をいただきたいと思います。

- ・ 企業誘致というと、大工場や大企業の誘致が全国で行われていて難しいです。創業については、いろいろな業種があり、小さい企業も貢献しているので、分かりやすい補助指標があれば入れてもらえれば施策に結びつきやすいと思います。
- ・ 総合戦略は作戦ですが、実施段階になると、その担い手をどうするかが大事となります。市の財政やマンパワーにも限りがあるので、実施する担い手として、ここにいる関係者のネットワークづくりや市民の関与が必要です。その点で、市民活動の人材育成やネットワークづくりといった部分が何か一つ入ると実施に続きやすいと思います。
- ・ P61・P62 については、5 つの基本目標が分かりやすいので、できれば見開きにした方がいいです。
- ・ P65 の尾州テキスタイルというと毛織物だけになるが、蚕を使った生物工業など毛織物以外の新しい繊維も進めるといえることがあると裾野が広がり、新商品開発につながり新しい挑戦もできると思います。
- ・ P67 の魅力にある P68 の K P I に七夕とタワーパークしかなく、これ以外のイベントは市として関与しないと見えてしまうのですが、考えをお聞きかせください。

事務局：基本目標 2 の数値目標では「主要観光イベント来客者数」を指標としていますが、それ以外のイベントも含めてカウントしますので、ここではメインとなる 2 つの事業についてだけ記載させていただきました。

そうであれば、既存事業で「その他イベント事業」と書かれてもいいかと思
います。

- ・まちづくり、イベント団体がたくさんありますが、これらの新しい事業につ
いても市として考慮していくということでもよろしいでしょうか。

事務局：担当課の検討も必要ですが、市だけではできないこともあると認識
していますので、従来どおりいろいろな分野の方々と協力して進
めたいと思います。

- ・戦略全体になりますが、戦略の一宮像をどのように市外へ広報していくこと
が大事になると思いますが、この広報戦略の部分について書かれていないよ
うに思いますが、どの様にお考えでしょうか。

事務局：項目としては、P68の「シティプロモーションの推進」に関わる部
分に該当すると思います。市だけでなく民間も含めて、一宮の魅
力を全て発信できるものと考えています。

戦略の取組みがいろいろな人に知られないと意味がないので、しっかり取り
組んでください。

- ・直截な言い方になりますが、K P I たりうるものになっているのか疑問に思
う部分があります。例えばP72のにぎわい創出のK P I やP68のシティプロ
モーション推進のK P I は、全体を表象するキーになっていないと思いま
す。開発件数や、これまでも資金提供の多寡に左右されてきた経緯のフィル
ムコミッションの誘致回数という指標では、賑わいやシティプロモーション
全体を表わせるか疑問です。もっといいものがあるのではないのでしょうか。

事務局：検討段階ですのでK P I の修正は可能です。ただ数値・指標をもつ
て判定するに当たり、種類とか回数とか、いろいろ考えた結果出
せるものとして現在の提案となりました。より良いK P I があれ
ば変更しますが、ソフト的な部分の数値化はなかなか難しいと考
えた末のものでもあります。

- ・シティプロモーションは、これまでも言わせていただいたが、全ての事業に
関連するものであり、事業と同じ量の広報があつて人々に認知されるもの
と思います。シティプロモーションが戦略全体の大きな課題なのに、扱いが小
さいのではないかと思います。
- ・担い手として、例えば個々の行政の担当者とか、戦略の個々の事業の担当す
る人が分かりません。5年しかなく直ぐに取り組まねばならないのに、担い
手（ひと）が見えてきません。具体的にいつ決まるのか、責任者が誰なのか
明確にしてほしいです。

事務局：シティプロモーションは今後進めていくことになりますが、地方創
生室の仕事と重なりますが、事業をどのような形で、どこが進め
るかなど、具体的な事業内容が決まってから担当課が明らかにな
るものと考えています。

KPI と言えば、シティプロモーションで SNS・ウェブサイト使うのであれば定量的にメガデータを数値把握できますので活用したらいいと思います。また、担い手については来年度の予算でほぼ既に決まっているのではないかと考えますので、疑問を投げかけて終わります。

- ・表紙のタイトルに使っている「トカイナカ」が、基本目標 3 の本文中に使われていないので考慮していただくと良いと思います。
- ・他市の人から評価してもらっている市民税 1% を使う市民が選ぶ市民活動支援制度について、記載があっても良いと思います。
- ・議論しているとメインとなる少子化がぼやけてきていると感じるので、P73 の基本目標 4 の 5 年後の数値目標 1.56 に向け、施策ボリュームを増やす必要があると思います。今後議論すれば良いのかもしれないが、子育ての精神的、ソフト的支援を充実させないと 1.56 は難しいという感想です。
- ・雇用では、市内の中小企業の採用難、中途採用難の状況になってきていて、少子化でさらに企業側での対応も難しくなってきます。行政とのネットワークが必要となっているので、取り上げてもらえたらと思います。
- ・PDCA は 1 年単位で行うということですが、KPI の数値を中心に回すということが良いですか。その KPI も見直せるということですか。

事務局：事業の進捗状況や 5 年後の数値に向かって、どのように動いているかを検証し、事業の効果を含めて見直しをします。KPI の見直しについて今は想定していませんが、場合によっては見直しの必要もあるかと考えます。

KPI だけでチェックするというのであれば、先ほど話が出たように KPI が適切かという話になるので、KPI だけではないという見解なので、PDCA は行えるという印象です。

- ・自分の研究では、地域に対する愛着の形成は、一番なのが小学生の段階であり、その時点で地域に対する様々な教育が必要と感じています。

P60 の基本姿勢と政策 5 原則の実現に向け、ミッションありきの活動としますので、つなげるには担い手が重要で、個々の事業の担い手を調整する担い手、いわゆる「担い手の担い手」が必要と考えます。これまでも「担い手の担い手」がないために、建設でハード（建物）とソフト（運営）が別であったり、仕組みと運用が別であったり、ワークショップで意見は聞くが結果は反映されないということがありました。

5 年間の PDCA を回すのにこの担い手が重要で、推進本部での横断的な組織と思います。初回の時に市長からは「横断的に取り組むので心配ない」とお答えいただいたが、これまで会議で他部署の方の顔を見ていません。情報共有はしていると思いますが、これでできるのか疑問に思っています。スピード感を持ってやるのに、個々に実行し、チェックして行動に戻すという運用面がとても重要です。推進本部のようなものを、ここの民間を含めた専門

家でチェックする機能を持って5年間進める仕組みが必要です。

5原則で言えば、自立性は自分たち民間が担えということになるが、調整機能が要ります。地域性は内外の知恵を集めることですが、他に仕事をもつ民間人だけではできません。直接性では、優先順位のもと機動的・即時的に取り組める遊撃隊のような組織が必要です。結果重視、成果指向では外部専門家によるチェックも必要です。

その点で、地方創生のために動く専従機関が必要で、そこで産官学金民からなる組織立てでチェックしながら回していく。その取組みを、シティプロモーションの発信として、スペシャルサイトで知らせて意見を集約するという、機動的で元気な推進本部というのが必要です。そういう官民からなる組織で5年間グルグル回していただくようお願いします。

- シティプロモーションというのは、総合計画の中でメインにやっています。総合計画が決まれば、一宮のこれからの行く先が決まります。シティプロモーションも大切ですが、総合戦略は基本的には人口減少をどうするかが大命題であり、そのためにいろいろな施策を行うという理解です。市長が言う横断的な取組みは、地方創生室がすべて統括するというものであり、今後この下に横断的な組織ができてくると理解していますし、求められています
- 市の総合戦略について、鳥取市の「すごいぞ、鳥取」のような一宮市を強調するキャッチフレーズを考えてもらい、大命題に掲げて進めていけばまとまりやアピール力が出てくると思いますので、検討をお願いします。
- 子育て関係の立場から、基本目標4はぜひトップにもって行ってもらいたいと思います。
- P74の具体的事業の「親同士の子育て援助活動支援の導入」というのは、ファミサポに似たものですか。

事務局：ファミリーサポート事業において、民間の取組みを参考に、緊急時に備えて親同士の結びつきをつくり、手続きがいないシステムを考えています。

子ども子育て会議で、総合戦略の子育て向けアンケート結果で「子育て不安」を紹介したところ、緊急時の預かりについて、行政には地域のつながりで気軽に預かれる場を支援してほしいという意見がありました。このアンケートに限らず、いろいろなデータはぜひ市内部で情報共有をお願いします。

- 立派な図書館が多いので、子ども読書のまち宣言をアピールできないかと思いました。
- 今後の見直しについて、5年後までの全体的なPDCAのスケジュールは決まっていますか。また最終的に総括的な報告書を出すことになるのですか。

事務局：来年度以降、年2回ほどの会議で検証をしたいと思います。これを毎年繰り返し、文書でまとめるかどうかは決めていませんが、最終年度では5年間のトータルの検証が必要と考えています。

- ・まち婚を開催するなら、人口増につなげるために、市内で働く男性を対象に市外女性とのマッチングや、または仕事を持ち共働き希望の市内女性と市外男性とのマッチングということで進めれば良いのではないかと思います。

② その他

今後のスケジュール、及び11月29日開催のシティプロモーションミーティングについて説明後、閉会。